

問題文

- 11 球審が看過して規則で許されていない投手の出場を発表してしまった。その投手が投球する前なら正しい状態に戻ることができる。 (○)

参照

5.10プレーヤーの交代(h) [原注]

監督が規則に違反して投手を退かせようとしたときには、**審判員はその監督に不可能である旨を通告しなければならない。**たまたま球審が看過して規則で許されていない投手の出場を発表してしまった場合でも、その投手が投球する前なら正しい状態に戻ることができる。万一、誤って出場した投手が1球を投じてしまえば、その投手は正規の投手となる。

問題文

- 12 監督がマウンドに行き投手に指示を与え、ダッグアウトに戻った。投手が1球を投げた後、監督が規則に反して再びマウンドへ行ってしまった。投手はただちに試合から退くことになる。 (×)

参照

5.10(2)監督・コーチがマウンドへ行ける回数(3)

監督またはコーチは、そのときの打者が打撃を続けている限り、再びその投手のもとへ行くことはできない。

問題文

- 13 後攻チームの指名打者が、1回表の守備につこうとした。これは規則違反のため認められない。 (×)

参照

5.11指名打者(a) (5)

指名打者が守備についてもよいが、自分の番のところで打撃を続けなければならない。したがって、投手は退いた守備者の打撃順を受け継ぐことになる。ただし、2人以上の交代が行われたときは、監督が、打撃順を指名しなければならない。

※ アマチュア(学童)野球では指名打者制度はないので参考にしてください